

若者がつくる、 中野の未来

中野区×若者プロジェクト

若者活動支援係／5階
☎(3228)5648 FAX(3228)5659

区は今年度、大学生・社会人のための「若者会議」を新設。中高生のための「ハイティーン会議」と関わり合いながら地域でチャレンジする「中野区×若者プロジェクト」が始動しました。

今号では、第1期若者会議のメンバーに、プロジェクトに参加した思いや展望を聞きました。

若者会議のW



▲(左から)高野さん、高橋さん、斎藤さん

若者会議に参加したきっかけは

斎藤 中学生の頃からハイティーン会議のメンバーとして活動。今回、新しいプロジェクトが始まると聞き、面白そうだと思い参加しました。

高野 子どもが生まれてから、地域に目が行くようになって。次世代のことを考えた時に、若者会議が目指す「若者の視点を生かす仕組みづくり」に興味を持ちました。

高橋 教育現場で働く中で、地域と協働する重要性を感じていて、地域とのつながりをつくりたいと思いました。ま

た、自分の子どもを連れて遊びに行ける公園が少ない、といった日頃の実感を生かせればと思い、参加を決めました。

印象に残っていることはありますか

斎藤 さまざまな自治体の方から先進的な取り組み事例を聞いたのは、楽しかったし新鮮でした。

高橋 メンター(助言者)を担当した高校生と中野四季の森公園へ行った時、大勢の家族連れがいました。それを見て彼が「何かいいですね」と言ったんです。おやきをハフハフ食べながら(笑)。

一から構想する若者会議 若者の思いをカタチにする場に



▲他自治体へZoomでヒアリング

10代の子も私と同じような感覚でまちを見ているんだと気付きました。

高野 私は、ハイティーン会議報告会で、中高生が区長と対話し、フィードバックをもらう姿が印象に残っています。自分たちの活動や意見を受け止めてもらったのは貴重な経験。

高橋 自分の一歩で何かを変えられるかもしれない、という気持ちになれたのは大きいですね。

若者プロジェクトとは?

若者が地域でチャレンジできる環境整備の一環。地域参加を促進し、若い世代の声を区に届ける取り組み

「中高生のための」

ハイティーン会議

2003年から続く、中高生が考えを深め、意見表明する場

「大学生・社会人のための」

若者会議

30代以下の大学生・社会人が参加。右記の2班に分かれて活動

構想班

来年度以降の若者会議のあり方を検討。若者の視点を地域に生かす仕組みを区へ提案する

メンター班

8グループに分かれてハイティーン会議のメンバーをサポート。チャレンジの進行管理や助言をする

若者会議とハイティーン会議との関わり方をどのように考えていますか

高橋 若者会議には大学生や社会人、子育て中の人など、いろんな人がいます。みんなにとって住みやすいまちを構想するなら、ハイティーン会議と若者会議がお互いの視点を持ち寄って活動するのはとても意味があると思いました。今回、自分では気付かない視点を中高生からもらった瞬間もあったので。

斎藤 僕も、二つの会議の関わりは必要だと思っています。ただ、ハイティーン

会議は中高生の育成、若者会議は区に声を届けるのが大きな目的。その違いがあいまいにならないようにしたい。
高野 メンター班は、中高生のサポートを通じて地域に働きかけるとい面がかなり大きかったですよね。若者会議メンバーのやりたいことや思いと、中高生のサポートをどう両立するか、構想班の中で今まさに検討中です。

最後に、若者会議の展望を

高野 今回参加して、まちの魅力や課題について話し合える仲間ができました。区内でも、住む地域によって課題は違いますよね。それを共有して、自分たちなりの行動を起こせる場にしていけたらと思います。

高橋 いろんな立場や視点を持つ人と出会えたので、このつながりを大事にしたいです。「共創したい」と思うメン



▲今年度最後の若者会議を終えて

バーが集まって、若い視点で中野のまちをもっと良くしていきたい。

斎藤 本当にそうですね。まちは再開発の真っ最中。今、中野で若者会議が活動する可能性は無限大だと思っています。

高橋 他の自治体にとってのモデルプランになればいいですね。

斎藤 若者先進都市として走っていきたいです。



▲ハイティーンとの打ち合わせ

プロジェクト運営事務局の声



認定NPO法人カタリバ 横田さん

若者会議は若者たちでつくるもの。若い世代の声が届き、より暮らしやすいまちへとつながるようサポートしています。

例えば、他自治体の方を会議の講師として招くなど、カタリバが持つつながりを生かしてプログラムを進行。参加メンバーはお互いに愛称で呼び合い、楽しく活動していました。

構想班



高野さん

就職をきっかけに中野へ。二児の母

国内の先進事例を調査・分析。若者会議の役割や運営方法などを検討し、中野ならではの若者会議のあり方を区へ提言する

メンター班



高橋さん

進学を機に東北から上京。区内在住・在勤。一児の父

中野の「おいしい魅力」を発信するプロモーション動画を制作する高校生を担当。飲食店のロケや動画編集も

メンター班



斎藤さん

区内在住20年の大学生。今春から社会人に

「自慢できる中野」を考察する中学生を担当。区民にアンケート調査をし、まちの再開発へのアイデアをまとめる

今後の活動を知りたい方は

来年度の募集については決まり次第、区HPでお知らせします。

活動情報などは右記二次元コードからご覧になれます。



▲区HP